

20210812 朝刊 (全面広告)

23 (全面広告)

2021年(令和3年)8月12日(木曜日)

北海道新聞

第1報徳島新聞

意見広告

北海道の大地は、 美味しい食材の原産地になるのか、 「核のゴミ」捨て場に利用されるのか、 今、北海道ブランドが問われています。

寿都町や神恵内村だけの問題ではありません。
北海道に生きる私たちが意思表示しなくてはなりません。

北海道には海・山・大地の美味しい食べ物をはじめ、
大自然や風景など、たくさんの魅力があります。
都道府県魅力度ランキング[®]では、12年連続で北海道がトップになりました。
人気を高めているグルメ食材には、安全な農産物や海産物が使われています。
また、雄大な自然スポットを有する北海道は観光地としても魅力的となっています。
そのような北海道を「核のゴミ」捨て場にしたいのでしょうか。

※出典:「地域ブランド調査2020」(ブランド総合研究所)調べ

すべての自治体で「核のゴミ」の受け入れを拒否する議会決議を。



NATURE
or
Nuclear Waste

守られるのか
10万年先の安全

2020年8月13日、北海道に衝撃が走りました。

前日の12日、寿都町長が高レベル放射性廃棄物の最終処分場選定に向けた文献調査に応募を検討していることが発覚したのです。

あれから1年、寿都町と神恵内村ではすでに文献調査が始まってしまいました。

北海道に核のゴミを誘致する動きは、世界からみても北海道ブランドのイメージ低下につながりかねません。

そして、先にやるべきことは、10万年近くも監視しなければいけない危険な核のゴミを「これ以上増やさない」という決断です。

皆で核のゴミ問題について声を上げていこう
#北海道を核のゴミから守ろう

<https://peace-forum.org>



北海道平和運動フォーラムは、核も戦争もない平和な、そして人権が尊重され、
環境保護の確立された21世紀を創ることを目的として活動しています。
また、そのために、国内はもとより世界のあらゆる人々と連携し活動します。



北海道平和運動フォーラム

〒060-0004 札幌市中央区北4条西12丁目 TEL011-231-4157

©北海道新聞社